帯広畜産大学で使用する電気 仕 様 書

国立大学法人北海道国立大学機構 帯広畜産大学

I. 概要

1. 調達件名

帯広畜産大学で使用する電気 一式

2. 発注者

国立大学法人北海道国立大学機構

3. 供給場所

带広畜産大学 帯広市稲田町西 2線 11番地

4. 業種及び用途

大学 (教育・研究)

5. 供給予定期間

令和6年4月1日0時00分から令和7年3月31日24時00分まで(1年間)

II. 本学の受電設備等

1. 供給電気方式、供給電圧、周波数、受電方式等

供給電気方式 交流三相三線式

標準周波 受電電圧 (標準電圧) 6,000V 計量電圧 (標準電圧) 6,000V 受電方式 1 回線受電

2. 契約電力、予定年間使用電力量

契約電力 1,434 kW (詳細は、資料 2-3 のとおり。)

(契約電力とは、契約上使用できる最大電力をいい、計量器により計測される値が原則としてこれを超えないものとする。)

なお、上記契約電力は資料 2-3 に示す 2 供給地点(令和 5 年 3 月に 1 供給地点 に接続済み)の直近 1 年間における最大デマンド値の合計であるため、契約締結 時には変更となる場合がある。

予定年間使用電力量 7,472,303 kWh (詳細は、資料 2-1 のとおり。)

3. 電力量の検針方法

自動検針装置有

電力会社の検針方法 遠隔自動検針

計量器 電力需給用変成器付複合計器(時間帯別・精密級)

4. 需給地点

本学構内需給場所に本学が施設した開閉器箱内の北海道電力株式会社の架空引 込線と本学開閉器電源側接続点

5. 電気工作物の財産分解点

II の 4. に同じ。ただし、既存の取引用計量装置は北海道電力株式会社の所有である。

6. 保安上の責任分解点 IIの4. に同じ。

7. その他

(1) 力率保持のため、力率調整装置を有しており、使用期間中は 100%を保持する予定。

(2) 太陽光発電設備を有しているが、発電した電力については、全量自家消費する。構成は以下のとおり。

· 50 KVA 1 基 · 2 KVA 1 基 · 48 KVA 1 基

· 7.3KVA 1 基増設予定

上記に加えて、最大で予定年間使用電力量の 20%相当を賄う太陽光発電設備を追加で増設する可能性がある(導入可否、導入予定時期については未定)。なお、2. の予定年間使用電力量は過年度実績に基づく値であり、太陽光発電設備の増設による影響は考慮していない。

(3) 非常用発電機を有している。構成は以下のとおり。

・低圧 315 KVA 1 台 ・低圧 200 KVA 1 台 ・低圧 130 KVA 1 台

III. 本学の要求要件

- 1. 資料 2-1 の予定年間使用電力量の供給能力を有し、安定した電気の供給が可能であること。
- 2. 供給場所に対する供給電力量のうち、「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件を満たす再生可能エネルギー由来の供給電力量の割合が20%を満たすこと。また、その環境価値について、当機構に移転したこととし、いかなる第三者へも移転しないこと。

※参考:「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の要件

 $\frac{https://www.there100.org/sites/re100/files/2023-02/RE100\%20technical\%20criteria\%20\%2B\%20appendices\%20\%28Japanese\%29.pdf$

- 3. 再生可能エネルギー電気の確認資料として、供給者は契約年度における電力供給終了後の令和7年5月10日までに、供給元電源情報及び供給電力量に占める再生可能エネルギー電気の比率について確認できる資料として、別紙「特定電源割当証明書」を発注者に送付すること。また、再生可能エネルギー電気の供給に用いた証書の写しを別紙「特定電源割当証明書」提出後、両者協議により定めた期間内に提出すること。なお、提出された証書の写しに記載されている情報がⅢの2.を満たしていない場合、供給者は、Ⅲの2.を満たす証書を追加で購入し、その証書の写しを発注者に提出する等により補修すること。
- 4. 電力を供給するにあたり、受変電設備を改修等する必要があるときは本学と協議すること。但し、改修等に係る経費は供給者側の負担とする。
- 5. 事故及び障害等が発生した場合に迅速に対応できる体制であること。

IV. 電気料金の算定

- 1. 各月の電気料金の算定方法は、基本料金の力率割引又は割増、電力量料金の燃料費調整は北海道管内の旧一般電気事業者が定める標準供給条件によるものとする。また、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金については、北海道管内の一般送配電事業者が定める標準供給条件によるものとする。なお、入札価格の算定にあたっては、燃料費調整額及び電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に基づく賦課金額は考慮しないこととする。
- 2. 検針で明らかになった有効電力と無効電力に基づき、力率を算出し、契約電力に対する基本料金を調整しなければならない。
- 3. 契約電力および最大需要電力の単位は1kW とし、その端数は小数点以下第1位で四捨五入する。
- 4. 使用電力量の単位は1kWh とし、その端数は小数点以下第1位で四捨五入する。

- 5. 料金の計算における基本料金、電力量料金は小数第3位を切り捨て、小数第2位 まで表示する。合計金額は1円とし、その端数は小数点以下を切り捨てる。
- 6. 経済情勢の激変その他予期することのできない特別の事情又は発電費用等の変動により、電気料金が不適当となり改訂する必要が生じた場合は、本学と協議の上変更できるものとする。
- 7. 契約電力について、変更する必要があると認められる場合は、本学と供給者間において協議し変更できるものとする。
- 8. この仕様書に定めのない供給条件については、北海道管内の一般送配電事業者が特定規模需給に対して定める標準供給条件(基本契約要綱)等をもとに協議するものとする。

V. その他

- 1. 本仕様書に定めのない事項については、当機構が定める物品供給契約基準および供給者が定める約款の規定によるものとする。
- 2. 前記の定めによらないものについては、本学と供給者間で協議し決定することとする。

VI. 添付資料

- 資料 1-1 带広畜産大学 受電施設配置図
- 資料 1-2 防災センター電気室平面図
- 資料 1-3 带広畜産大学受変電設備単線結線図
- 資料 2-1 令和 5 年度電力使用量実績(予定使用量)
- 資料 2-2 令和 4 年度電力使用量実績
- 資料 2-3 最大デマンド発生日の負荷曲線
- 別紙 特定電源割当証明書



↑ 引き込み柱位置 (開閉器)

防災センター電気室6KV CVT60sq

│1│総合研究棟Ⅰ号館電気室 6KV CET38sq

2 学生寄宿舎電気室 6KV CET22sq

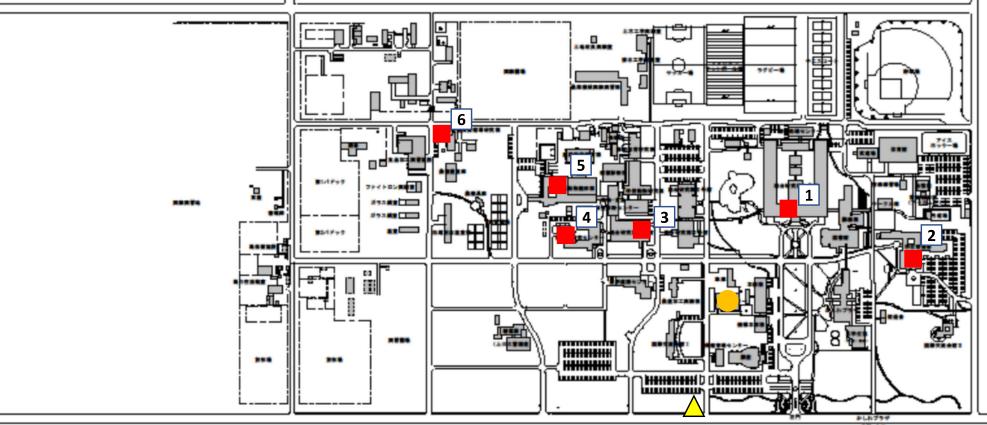
3 総合研究棟Ⅳ号館電気室 6KV CET22sq

4 原虫病研究センター電気室 6KV CET38sq

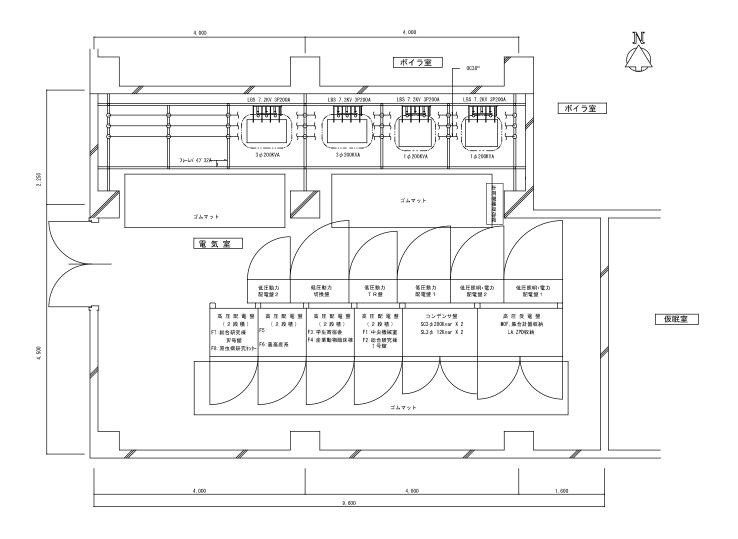
5 産業動物臨床棟電気室 6KV CET38sq

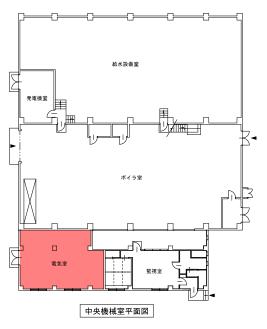
6 屋外キュービクル 6KV CET38sq

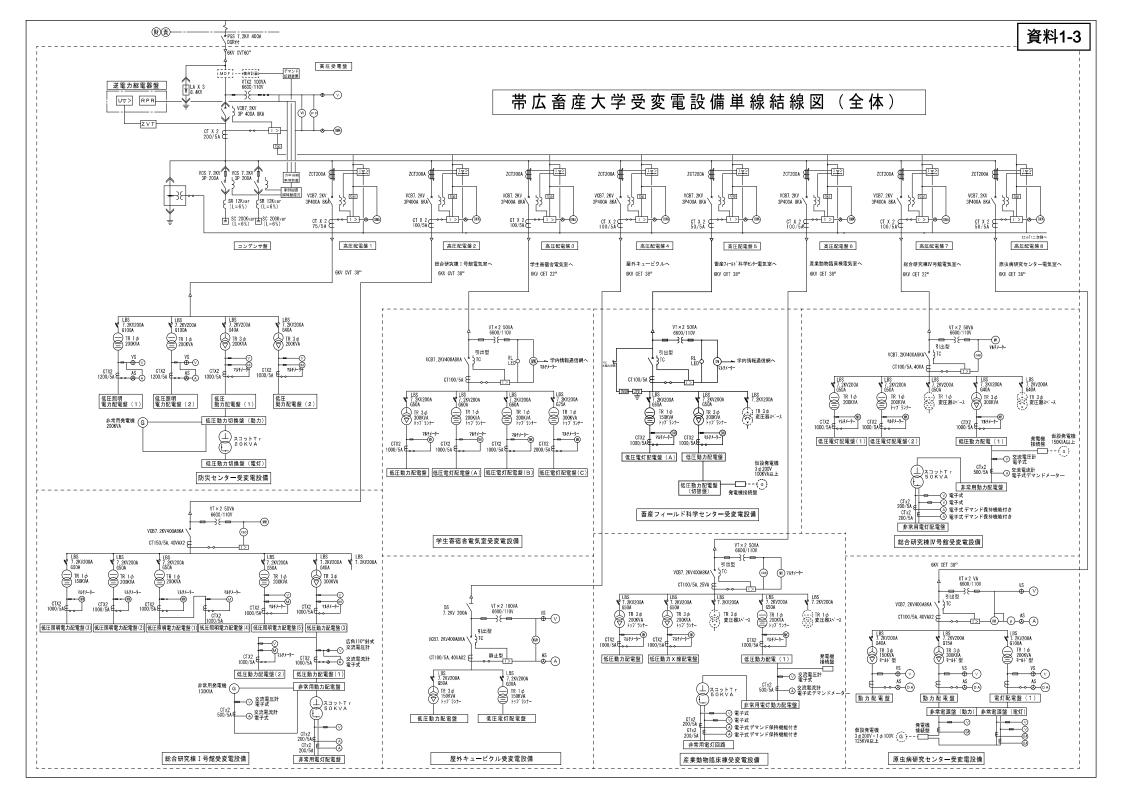
7 畜産フィールド科学センター電気室 **6KV CET38sq**



防災センター電気室平面図





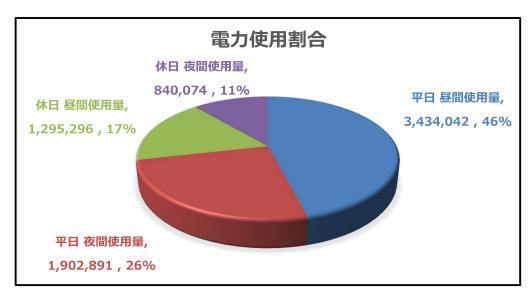


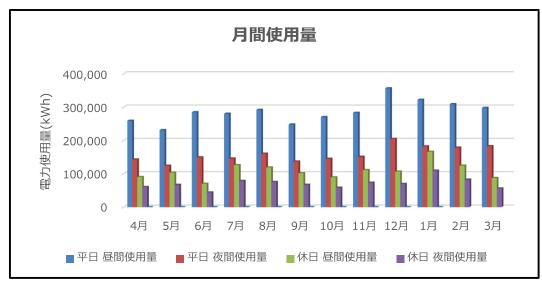
令和5年度 電力使用量実績(予定使用量)

(kWh)

供給地点		計測月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	平日	昼間使用量	259,182	231,083	284,834	280,263	291,813	247,997	270,347	282,971	356,581	322,102	308,992	297,877	3,434,042
	T L	夜間使用量	142,815	124,070	149,181	145,731	160,278	136,580	144,970	150,985	204,703	182,265	178,481	182,832	1,902,891
	休日	昼間使用量	90,246	103,162	70,090	126,083	118,856	101,743	89,179	111,374	106,654	165,958	124,499	87,452	1,295,296
帯広畜産大学		夜間使用量	60,166	66,687	43,880	78,369	75,365	66,964	58,177	73,146	69,588	109,388	82,450	55,894	840,074
	昼間計		349,428	334,245	354,924	406,346	410,669	349,740	359,526	394,345	463,235	488,060	433,491	385,329	4,729,338
	夜間計		202,981	190,757	193,061	224,100	235,643	203,544	203,147	224,131	274,291	291,653	260,931	238,726	2,742,965
		合計	552,409	525,002	547,985	630,446	646,312	553,284	562,673	618,476	737,526	779,713	694,422	624,055	7,472,303

※12月以降は前年実績記載(赤字)



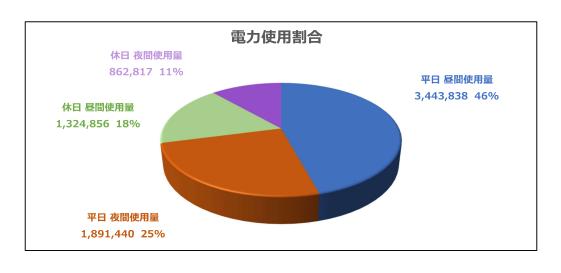


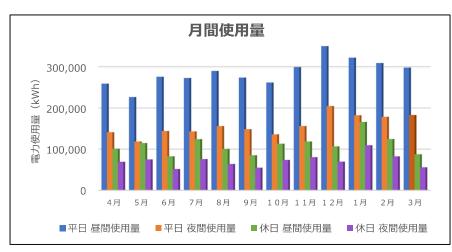
令和4年度 電力使用量実績

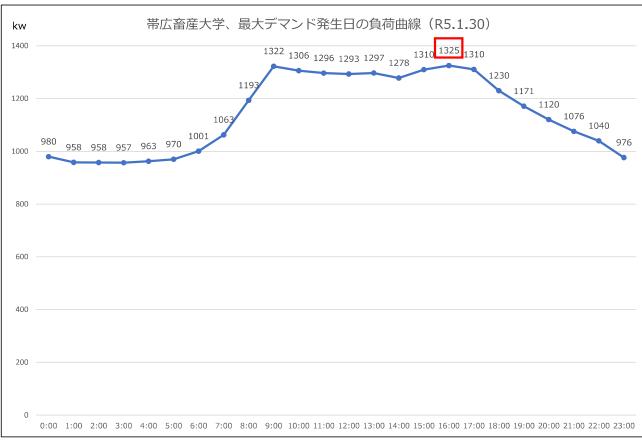
(kWh)

供給地点	計	則月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
	平日	昼間使用量	246,081	212,377	258,343	254,967	271,488	257,190	247,045	283,222	343,187	308,179	295,461	288,499	3,266,039
		夜間使用量	134,641	110,544	134,718	133,892	146,037	139,912	128,095	148,098	196,738	174,307	170,650	177,875	1,795,507
帯広畜産大学	休日	昼間使用量	96,365	107,439	77,169	116,788	95,009	79,589	107,594	112,579	101,076	159,101	119,159	84,896	1,256,764
	I WH	夜間使用量	65,591	69,849	48,224	71,059	59,578	50,443	69,348	75,978	65,769	104,239	78,448	54,048	812,574
	小計		542,678	500,209	518,454	576,706	572,112	527,134	552,082	619,877	706,770	745,826	663,718	605,318	7,130,884
	平日	昼間使用量	12,934	14,023	17,322	17,745	18,356	16,487	14,674	16,032	13,394	13,923	13,531	9,378	177,799
畜産フィール		夜間使用量	6,508	7,943	9,380	9,194	9,936	8,508	7,775	7,978	7,965	7,958	7,831	4,957	95,933
ド科学セン	休日	昼間使用量	4,876	7,353	5,441	7,449	5,539	5,608	5,578	5,917	5,578	6,857	5,340	2,556	68,092
ター		夜間使用量	3,694	5,176	3,599	4,802	4,488	4,578	4,507	4,583	3,819	5,149	4,002	1,846	50,243
	小計		28,012	34,495	35,742	39,190	38,319	35,181	32,534	34,510	30,756	33,887	30,704	18,737	392,067
	平日	昼間使用量	259,015	226,400	275,665	272,712	289,844	273,677	261,719	299,254	356,581	322,102	308,992	297,877	3,443,838
	Τ μ	夜間使用量	141,149	118,487	144,098	143,086	155,973	148,420	135,870	156,076	204,703	182,265	178,481	182,832	1,891,440
合計	休日	昼間使用量	101,241	114,792	82,610	124,237	100,548	85,197	113,172	118,496	106,654	165,958	124,499	87,452	1,324,856
	NNL	夜間使用量	69,285	75,025	51,823	75,861	64,066	55,021	73,855	80,561	69,588	109,388	82,450	55,894	862,817
	<u>a</u>	ilt	570,690	534,704	554,196	615,896	610,431	562,315	584,616	654,387	737,526	779,713	694,422	624,055	7,522,951

※令和5年3月下旬より畜産フィールド科学センター電力系統を帯広畜産大学系統へ切替統合









特定電源割当証明書

国立大学法人北海道国立大学機構 理事長 長谷山 彰殿

\bigcirc	₽OO	
○○○○株式	式会社	
代表取締役	$\bigcirc\bigcirc$	00

以下のとおり、貴機構に電力を供給したことをここに証する。

また、供給元電源情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、貴機構に移転したことと、いかなる第三者へも移転されていないことをここに証する。

1 お客様情報

お客様番号

需要施設名 带広畜産大学構内

需要施設住所 北海道帯広市稲田町西 2 線 11 番地

契約電力 〇〇〇〇 kW

2 供給期間

令和6年4月1日~令和7年3月31日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報(環境価値の属性情報は別添のとおり)

- 14 4110 1			· (> +> - -										
区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月 (見込)	累計 (見込)
再エネ由来電力量													
(kWh) [A]													
供給電力量													
(kWh) [B]													
再エネ比率													
(%) [A/B]													

担当者等連絡先		
部署名:		
責任者名:		
担当者名:		
$T \in L$:		
F A X:		
E - m a i l :		

別添

環境価値の属性情報(見込みを含む)

環境価値の付与に使用した証書の種類	供給元発電所名	住所	発電設備	環境価値 移転料 (kWh)	発電器官	認証番号
FTI 非化石証書(再エネ指定)	○○発電所	○○県○○市○○	太陽光	00	○年○月○日~○年○月○日	00
非 FTI 非化石証書(再エネ指定)	○○発電所	○○県○○市○○	風力	00	○年○月○日~○年○月○日	00
			_			_
			合計 (kWh)	00		